

プレスリリース

ガウ・キャピタルと DayOne、都内のガウ・キャピタル・データセンターキャンパス内に 1 期棟を着工



(起工式の様子) 左から: DayOne の戦略&ビジネス開発 SVP Jimmy Yu (ジミー・ユー) 氏、取締役 Andy Okada (岡田総良) 氏、William Huang (ウィリアム・フアン) 会長、(神主)、ガウ・キャピタル・パートナーズのプレジデント兼マネージングプリンシパル Kenneth Gaw (ケネス・ガウ)、マネージングディレクター兼投資部門プリンシパル兼日本代表 Isabella Lo (イザベラ・ロー)、アセットマネジメント (APAC) 担当マネージングディレクター Edward Law (エドワード・ロウ)、マネージングディレクター兼アセットマネジメント (日本) 責任者 谷口大輔、マネージングディレクター兼データセンタープラットフォーム (アジア/中国を除く) 責任者 Nicholas Toh (ニコラス・トー)

東京、2025 年 8 月 1 日ー不動産、グロースエクイティ、プライベートクレジット、インフラ市場を対象に、グローバルに事業を展開するマルチアセット投資運用会社のガウ・キャピタル・パートナーズと、シンガポールに本社を構える世界的データセンター開発・運用会社 DayOne (デイワン) は本日、東京都府中市で開発中のガウ・キャピタルの 80 メガワット (MW) データセンターキャンパス内で 1 期棟の建設を開始しました。

東京都心から 30km 圏内に所在し、高水準の運用環境が整備されたデータセンター集積地である府中インテリジェントパーク内の戦略的な立地に位置するこのキャンパスは、延床面積が約 66,360

平方メートルの施設で、キャンパス全体で 80MW の IT 容量に対応します。完成すると、IT 負荷ベースで府中市内最大級のデータセンター開発プロジェクトとなる予定です。

本キャンパスの 1 期棟は、データホール 10 室(総 IT 容量 18MW)を備えた 9 階建ての建物で、コア&シェルは 2027 年半ばの完成を見込んでいます。設計は NEC ファシリティーズ、施工の元請けは長谷工コーポレーションが担当します。

この最新鋭のハイパースケールデータセンターは、高度な冷却技術を導入し、再生可能エネルギーを活用することで、エネルギー効率の向上を図ります。また、当施設は、CASBEE や LEED、ISO50001(エネルギーマネジメントシステム)などの ESG や運用に関する認証の取得を目指し、次世代のデジタルインフラにおける持続可能性やイノベーションに対するコミットメントを強化していく方針です。

起工式には、ガウ・キャピタル、DayOne、ユナイテッド・オーバーシーズ銀行、クレディ・アグリコル銀行、長谷工コーポレーション、NEC ファシリティーズの代表として各社の幹部が会し、ガウ・キャピタル・パートナーズからはプレジデント兼マネージングプリンシパルの **Kenneth Gaw**(ケネス・ガウ)、DayOne からは **William Huang**(ウィリアム・フアン)会長も列席しました。式典は、日本のデジタルエコシステムの発展と地域間の接続性の強化を図るという、各社の協調的な取り組みを象徴するものとなりました。

ガウ・キャピタル・パートナーズのマネージングディレクターでデータセンタープラットフォームのアジア(中国を除く)責任者を務める **Nicholas Toh**(ニコラス・トー)は、「この起工式は、府中市のデジタル革命における重要なマイルストーンです。この度の連携は、ガウ・キャピタルのグローバルな不動産分野での経験と、DayOne の高性能データセンター運営における専門性を融合させた共同プロジェクトであり、生成 AI の台頭によって高まる東京エリアのデータ処理需要に応える世界水準のインフラの構築に向けた、両社の共同の取り組みを反映しています」と述べ、プロジェクトの重要性を強調しました。

また、DayOne の **Jamie Khoo**(ジェイミー・クー)CEO は次のようにコメントしました。「本日の起工式をもって、当社が日本で初めて手掛けるプロジェクトが始動しました。このキャンパスは、日本や首都圏におけるクラウド、AI、次世代テクノロジーの急速な成長を支える重要なインフラとしての役割を果たすとともに、当社が東南アジア全域で展開した SIJORI(シンガポール、ジョホール、リアウ諸島)戦略の成功に続く、グローバルプラットフォーム拡大に向けた重要な一歩でもあります」

日本は世界最大級の Tier1 データセンター市場であり、国内外との接続性が高い首都圏は、国内の主要なデジタルハブとして機能しています。DayOne は、同社として日本初となるデータセンターの着工を通じて、高性能なデジタルインフラを牽引するプロバイダーとしての地位を改めて示すとともに、日本のデータエコシステムの発展に向けた大きな一歩を踏み出しました。

以上

ガウ・キャピタル・パートナーズについて

ガウ・キャピタル・パートナーズは、アジアを拠点に、世界の不動産、グロースエクイティ、プライベートクレジット、インフラ市場に注力するマルチアセット型投資運用会社です。

2005年の設立以来、アジア太平洋地域を対象とした7つの合同運用ファンドを調達したほか、米国でバリューアッド型／オポチュニスティック型ファンド、アジア全域を対象とするホスピタリティーファンド、欧州を対象とするホスピタリティーファンド、グロース・エクイティ・ファンド、およびクレジットファンドを組成してきました。また、世界各地でクレジット戦略や個別口座による直接投資も運用しています。

ガウ・キャピタルは、パフォーマンスの低い資産を再生し、創造的な資金調達手法を通じて価値を高め、資本配分に関する高い専門性を活用することで、継続的に高い収益を生み出してきました。

2005年から2025年第1四半期までのエクイティ調達額は242億米ドル、同期時点の運用資産総額は354億米ドルにのぼります。

DayOneについて

シンガポールを拠点とするDayOneは、信頼性が高く、コスト効率に優れ、スピーディな拡張が可能なソリューションを求める業界のトップ企業向けに、次世代のデジタルインフラを開発・運用するデータセンターのパイオニアです。最先端の施設を通じて、ハイパースケーラーや大企業による迅速な導入と接続性の向上を支援し、業界の未来を創造する過程において変革的な取り組みとイノベーションを推進しています。DayOneのデータセンターは、シンガポール、ジョホール（マレーシア）、バタム（インドネシア）、バンコク首都圏、香港特別行政区、東京などの主要市場に展開しています。本社をシンガポールに構え、経営陣は20年以上にわたってアジア最大級のデータセンタービジネスを構築してきた業界経験と実績を有します。DayOneは、シンガポール、ジョホール、リアウ諸島を結ぶSIJORI市場を世界的なデータセンターハブとして確立しました。

メディアの問い合わせ先:

Gaw Capital Partners

Camille Lam

Director, Corporate Communications & Investor Relations

Tel: +852 9876 9286

Email: camillelam@gawcapital.com

DayOne

Email: marketing@dayonedc.com